

中間年度見直しシートの見方

感じよう（感動）			1 知ろう（情報・理解）		資料 1
基本施策 1ー（１）芸術文化活動の情報発信体制の充実					
数値目標 芸術文化の情報発信が不十分であると感じている人数				目標値 70/1,000人（7%）	未達成
【当初】 88人／1,000人（8.8%）			【見直し】 316人／1,000人（31.6%）		
実行プラン①芸術文化活動情報発信の基盤整備			芸術文化振興プラン31ページ記載の現状値		
当初			アンケートより検証した現状値		
現状と課題			見直し		
本市での芸術文化活動の情報については、市広報や大野城まどかびあ情報誌などにより発信しています。しかし、市や大野城まどかびあが行う主催事業の情報発信に留まっており、その他の芸術文化活動の情報を発信できていない現状があります。そのため、市内で行われている			・当初より不十分 ・情報を取得する機会が減少 ・情報が取得する声が増えた。		
目的			見直しの方針		
市内で行われている様々な芸術文化活動の魅力を、活動団体と市民をつ			・どの世代の市民でも利用可能な情報発信方法を整 ・市民が情報に触れる		
参考となる取り組み			実施している取り組み		
芸術文化情報発信サイトの構築			芸術文化情報発信サイ		
			これまでの実施した取り組み（今後継続して実施するものも含む）		
			必要な取り組み		
			芸術文化情報発信サイトの周知、勸奨活動		
実行プラン②芸術文化に関する情報内容の充実					
当初			見直し		
現状と課題			見直しの方針に基づき検討した必要である取り組み		
芸術文化の情報について、アンケート調査の結果によると、多くの市民が市広報や大野城まどかびあ情報誌のチラシ・ポスターなどによって情報を得ていることがわかった上、さらなる情報発信・情報提供体制の充実が求められています。このことから、発信した情報が活動につながる有効なものとなるよう、既存の様々な情報発信媒体において、内容をわかりやすく工夫するなどし、さらなる情報の充実を図る必要があります。			・イベントや活動団体情報でも活動の様子や団体・アーティストの思いや人となりが分かる方が活動につながりやすい。 ・情報発信の方法だけでなく、活動につながる情報が求められている。		
目的			見直しの方針		
よりわかりやすい情報を提供するために、魅力ある紙面やホームページ・SNS※等の作成方法について学び、既存の情報発信媒体における情報の充実を図るとともに、より多くの市民の目に触れることができるようにします。					
参考となる取り組み			実施している（した）取り組み		
芸術文化情報誌の作成研修 広報「大野城」や大野城まどかびあ情報誌などの配架場所の増設			広報「大野城」や大野城まどかびあ情報誌などの配架場所の増設（情報の森）		
			新たに必要取り組み		
			芸術文化情報発信サイトにおける情報発信方法の検討		